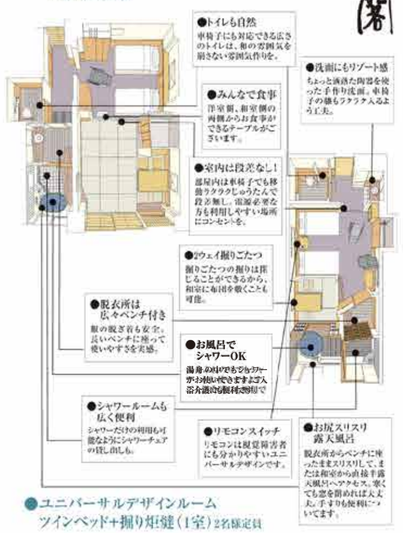
人に優しい扇芳閣

車椅子ご利用や、体の不自由なお客様に不便なくご利用いただけるように、玄関の車寄せの部分から、ロビー、また館内の様々な所でバリアフリー対応のスロープや手すりを設けております。より快適に、旅のひとときをお過ごしいただけることを目指し、これからもより一層改善に努めてまいります。

●ユニバーサルデザインルーム
和室7.5畳+ツインベッド+掘り炬燵
（2室）6名様定員



●ユニバーサルデザインルーム
ツインベッド+掘り炬燵（1室）2名様定員

充実した館内施設

また、伊勢志摩ならではの真珠コーナーや海産物等美味しい品々を集めたお土産処、楽しい2次会のカラオケサロン、スナック、夜食コーナーや、ご入数に合わせた会議室、宴会場も多数ございますので、大切なご会合からご家族旅行に至るまで、あらゆる目的で扇芳閣をご利用下さい。

大広間「万代」

中広間「右近」

大広間「レインボー噴水」

スナック「フリーポート」

会議室「ハーモニーホール」

お好みコーナー「小唄」

お土産処「伊勢志摩」

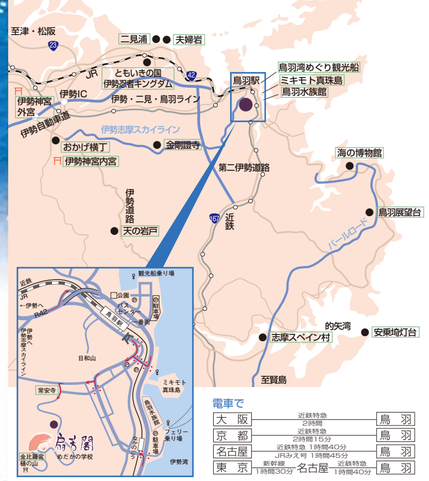
カラオケヤロン「舞」

もうひとつの伊勢志摩

扇野の里は、伊勢志摩の隠れた名所。
豊かな自然に恵まれた里山は、
日本情感溢れる小説「扇野」の舞台ともなり、
訪る人を招いた気持ちにしてくれる、
ふる里に似たなつかしい風情があります。
四季折々の自然のうつろい、旬の味わい、
心あたたまる温泉。
美しい伊勢湾の眺望とともに、
もうひとつの伊勢志摩をご満能ください。

施設概要
●客室 全84室（和室のうち露天風呂付21室）
●宴会場 大広間(160畳・120畳・104畳・80畳・50畳等)、中広間(80畳・20畳等)、大会場(最大宴会場160畳)、宴席(最大宴会場「万代」60畳)、個室(最大宴会場「万代」60畳)
●大浴場 展望大浴場（露天風呂・檜風呂・壺湯）、男女入れ替り制
●スナック・ラウンジ・レストラン
●カラオケサロン・スナック・お好みコーナー
●ゲームコーナー
●宴会場（ハーモニーホール 380名様）

西方東も観光の拠点
扇芳閣は近鉄鵜方駅から車で5分という好立地。近隣の鳥羽駅や賢島駅から車で5分という好立地。近隣の鳥羽駅やミキモト真珠島はもちろんのこと、志摩スペイン村、伊勢神宮内宮、伊勢神宮外宮へのお便利さも魅力として、是非ご利用ください。また観光スポットには載っていない穴場スポットや、おすすめの観光ルートもご紹介いたしますので、お気軽にお問い合わせください。また、1階の扇野ライブラリーには地元ゆかりの書物や、観光関連の書物も取り揃えております。



電車で

大阪	近鉄特急 2時間	鳥羽
京都	近鉄特急 2時間15分	鳥羽
名古屋	近鉄特急 1時間40分	鳥羽
東京	新幹線 1時間30分 名古屋	近鉄特急 1時間40分 鳥羽

内は扇芳閣おすすめの観光スポットです。

お車で

大阪	西名阪道 115km	関	伊勢自動車道 67km	伊勢IC	伊勢二見鳥羽スカイライン・R42 14km	鳥羽
名古屋	東名阪道 65km					
東京	東名 310km	豊田	伊勢湾岸自動車道 66.9km	四日市	東名阪 31.8km	関
	伊勢自動車道 67km		伊勢IC		伊勢二見鳥羽スカイライン・R42 14km	鳥羽
東京	東名 270km	豊川IC	R259 55km	伊良湖	フェリー 55分	鳥羽

伊勢志摩国立公園／鳥羽
政府登録（登録1157号）
扇野の宿
扇芳閣
〒517-0011　三重県鳥羽市鳥羽2丁目12番24号
TEL.0599（25）3151（代）
FAX.0599（26）3150
https://www.senpokaku.com
E-mail: info@senpokaku.com

Ise-shima National Park TOBA. SENPOKAKU
The other one. ISE-SHIMA

もうひとつの伊勢志摩

露天風呂付客室

（こだわりの24室）
和室8畳を和洋室を4室
（同じタイプでバーサルルーム）
洋室(W)2室

お客様の強いご希望により、浜木綿館に露天風呂付客室が完成いたしました。朝な夕な表情を変える鳥羽の空を眺めながら、ゆったりとしたひとときを。自分専用の露天風呂で旅のひとときをご満喫下さい。

●和室8畳（3室）4名様定員

露天風呂付和室

女性ひとりで泊まる
●ゆとりのセミダブルタイプ（3室）1名様定員

旅館での贅沢な時間をお過ごし頂ける、「女性専用ルーム」を設けました。

最新CDプレイヤー、液晶テレビが設置されております。

洋風の雰囲は、信楽焼の伝統工芸師の作品。

自分のごはう引に一人旅はいかがでしょう？専用バスタットにはティーセットなどご用意。

一人旅を楽しくする専用アメニティグッズ。

●和洋室7.5畳+ツインベッド+掘り炬燵（2室）6名様定員

●ツインベッド+掘り炬燵（2室）2名様定員

露天風呂付洋室

●和室8畳+掘り炬燵（14室）
4名様定員

露天風呂付客室

2人だけの時間がゆっくりと流れます。

お客様のニーズに合わせ、様々なタイプのお部屋をご用意。

各客室からは、鳥羽の海が一望でき、旅のひとときをより思い出深いものにすることでしょう。

特別室

扇野館客室

二間続き大部屋　浜木綿館客室

お好み会わせ逸品会席

サイコロ焼き

伊勢志摩は、おかげ参りとして知られる江戸の頃より、観光地として栄えた伝統を今に伝えています。扇芳閣は、そんな伊勢志摩の地で、おもてなしの心を、新鮮な海の幸を中心とした会席料理に託しております。海の味覚の宝庫、伊勢志摩の豊富な食材の中から、料理人が厳しい目で選んだ伊勢海老、鮑など、食材の持つ旨味を大切に、また、よりオリジナリティのあふれる料理を楽しんで頂こうと様々な工夫を。伊勢海老をふんだんに使った「伊勢海老づくし」や「伊勢海老ステーキ会席」、鳥羽近郊の漁港より届けられる新鮮な素材が卓を彩る「海の幸会席」、調理長推奨の膳「扇野舞」などのオリジナル料理、お造り、焼き、蒸し、洋風のアレンジと、当館自慢の多彩な調理法でお召し上がり下さい。また「選べる逸品料理会席」はこの地域で特に人気の高い伊勢海老、あわび、和牛をチョイスして頂き、特製ソースで仕上げた人気の会席です。

また、1尾のマグロをさばく「どてこい造り」は、主にご宴会の席にてお楽しみ頂くグルメ・ショー。目と舌を楽しませてくれる扇芳閣ならではの豪快な味わい。心すく鮮やかな包丁さばきもまた、扇野のよき思い出となるでしょう。

扇芳閣名物「どてこい造り」

「どてこい」は鳥羽の島々の方言で、「大きい」「たくさん」を意味しています。大きなマグロを、3～4人がかりでさばく「どてこい造り」は、ダイナミックで鮮やかな包丁さばきが見ものです。

伊勢海老具足煮

鋼姿造り

あわび踊り焼き

Ise-shima National Park TOBA, SENPOKAKU

The other one, ISE-SHIMA

もうひとつの伊勢志摩

四季に自然が歌う扇野の里をゆく

扇望台

緑豊かな山ふところに抱かれた扇野の里。金刀比羅宮への散策道には梅や桜など四季の折々の花が咲き誇ります。また展望小公園からはひときわ雄大な鳥羽湾の風景を一望の下に見渡すことができます。

春は桜、秋は紅葉 心やすらぐ扇野の里

ここからの眺めもまた素晴らしく、天気が上がれば伊勢湾はもちろん、はるか渥美半島、そして山頂を雪化粧した富士山を望む日もあるという。扇野に目をやれば眼下には、たくさんの桜やもみじの木。春には桜、秋には紅葉と四季を通して目を楽しませてくれる、そんな里山のやさしさと豊かさを、あらためて実感してしまう。参道の石段を降り、来た道をゆっくりと辿る。心地よい疲れを感じ、宿に戻ると、また温泉のぬくもりが恋しくなった。露天風呂に浸かりながら、ほっとため息ひとつ。遠く空を見上げた。風が吹くと、みかんの香りがした。時がとまるところ。自分を取り戻す旅。ここは扇野の里。

扇望台からは、鳥羽の人々の営みを思わせる碧き鳥影が

めだかたちに別れを告げると、急に里山から海を眺めてみたくなり、見晴らしのいい扇望台を目指した。鳥たちのさえずりに送られながら扇望台に着くと、見渡せば陽光に照らされ、ところどころ銀色に輝く鳥羽の海に碧々した島影が浮かんでいる。そのなかには、三島由紀夫の小説「潮騒」の舞台になった神島も見える。あの主人公の少女のように、きっと今日も海女たちは、この風景のどこかで海の恵みを探している。

目線を移すと、今は橋でつながれたミキモト真珠島も見える。御木本幸吉翁が真珠の養殖に成功してからは、真珠が伊勢志摩の重要な海の恵み。ここから海を眺めていると、そんな人々の歴史が走馬灯のように頭に浮かんでは消えていく。

扇望台をあとにして、さらに山を登る。頂は金刀比羅宮。扇芳閣から扇野を散策する道は、金刀比羅宮の参道にもなっている。この神社は、古来より海上の守護神として大物主神・崇徳天皇を祀る四国琴平山を本社とする分社で、今も伊勢志摩の人々の暮らしを見守っている。

テイーラウンジ「花扇」

ロビー

晩春から初夏にかけては藤棚の紫の花が艶やかに迎えてくれる

四季折々にその表情を変える扇野の里。

扇芳閣の露天風呂から、歩み出れば、そこはもう、自然につつまれた扇野の里。まず目に入るのは昔日へ戻ったかのような小さな水車の風景。静かに水を汲み上げて廻るその景色は、なつかしい里山の情緒を醸し出している。なだらかな坂を登ると、そこにあるのは大きな池。「めだかの学校」とある。かつては日本のどこでも見かけることができた「めだか」も、今は探すのが難しいという。それがここには5000匹ものクロメダカが群れをなす。水ぬるむ頃、池をのぞけばきれいに整列しためだかたちが、先頭にしたがって線を描くようにして泳ぐ模様が微笑ましい。

さらにそぞろ歩くと藤棚が迎えてくれる。4、5月には紫や白色の蝶形花をいっぱいに咲かせるという。その向こうには、色とりどりのかわいい花々を風になびかせた花壇が広がる。ここは、まるで来る人を花で歓迎する、扇野の里のエントランス。多彩な花卉の合唱が目にやさしい。

藤棚(4月下旬~5月上旬)

ガーデンプール

庭園露天風呂(ご婦人)

扇野温泉

泉質／弱アルカリ性単純泉
効能／リウマチ性疾患、運動性障害、神経麻痺、神経痛、病後回復期、疲労回復

露天風呂(殿方)

万華鏡のある音楽人形館

4000体を越える音楽を奏でる一楽器を持つ人形を展示し、市民の憩いの場としてオープンしました。この音楽人形館は永谷正嗣氏のご協力をいただき実現しました。ライブハウスとしてもご利用いただけます。

殿方展望大浴場

広々とした展望大浴場からは、鳥羽自慢の海が望出来れば朝、お食事前の時間帯にお風呂に浸ってください。天気の良い日は本当に贅沢な気持ちで温泉を楽しんでいただけることでしょう。

湯上がり処

水琴窟

地中の瓶へと落ちた水滴が奏でる、微かな音。静寂の中で耳にする琴に似た響きは、しっとりと心に沁みいるようです。刻一刻と変わる音色は無常を謳い、再び同じ音を奏でることはありません。

露天風呂へ続く道

旅の醍醐味の温泉を、扇芳閣ならではの演出でおくつろぎいただく初音の湯。湯気のなかに立ち昇るのは、伊勢志摩の地に大切に受け継がれた、旅人を迎えるあたたかな心なのかもしれません。「葉三郎」「おつる」の風呂の名は、山本周五郎作「扇野」に由来するもの。絵師の栄二郎が枯野を描いた襖絵に点睛を加えるため、墨筋おつるに扇を落としてもらう――。

そんな詩情あふれるいわれがあります。野趣あふれる露天風呂に身を沈め、しばし静寂に浸れば、日常の喧騒もはるかに遠のき、身も心もほっこりとやすらぎます。自然が奏でる水琴窟の調べもまた、当館ならではのおもてなし。静かに響く水の滴の音に、いつしか時間を忘れ、夢うつつを漂うような、心地よいやすらぎに包まれます。またゆったりと湯に身をまかせながら眺める、展望大浴場からの海の一大パノラマも格別です。

朝な夕なに繊細に変わるその眺めは、一幅の絵としていつまでも鮮やかに心にとどまることでしょう。

めだかの学校

小川を泳ぐめだかの群、色とりどりの花咲く散歩道、木々を渡る優しいそよ風。ここは、懐かしい風景と感動に出逢う、心のふる里。小川のほとりや隣接する花壇など、そこかしこに咲く可憐な花が、優雅な旅のひとときを彩ります。

世界にはおよそ3万種の魚が知られ、その約10%が日本の海や河川に生息しています。日本では北海道を除く各地で田んぼや小川にメダカが泳いでいました。メダカが私たち日本人に親しまれてきた証拠に、全国には2千以上もの方言が残されています。しかし環境悪化で、メダカは激減してしまいました。この度、扇芳閣のご努力で完成した「メダカの学校」をビオトープBIOTOPE＝生物生息空間として、生態系のパロメーターであるメダカをみんなの力で復活しようではありませんか。

鳥羽水族館　館長　中村　幸昭